



2月園だより

令和6年1月31日 発行

社会福祉法人東京児童協会 大和東保育園
〒207-0011 東京都東大和市清原 2-2-2

Tel : 042-561-2958

2024年の始まりは「令和6年能登半島地震」その後の余震や津波の報道にまさか元旦に…という思いと、やはり自然災害はいつ起こるかわからないこと・常に備えることの大切さを改めて感じました。大寒波が到来している中、大変な状況で過ごされている方や安否が不明となっておられる方も未だ多いことを見聞きし、その不安は計り知れません。

私は年末より関東の実家へ帰省し、帰宅するため電車に乗っている最中の出来事でした。震源地よりかなりの距離がありますが、乗車している方々のアラートが一斉に鳴り響いた後かなりの長い時間揺れを感じました。日の入が近い時間帯であったことから実際の状況は翌朝に改めて知ったことを記憶しています。みなさまも元旦の夕方に様々な状況でこの地震を把握されたかと思えます。

毎月行う災害を想定した訓練の際、常に真剣な気持ちで取り組むことが出来るよう意識をして進めています。ご家庭でも日頃の備えや、緊急時の動きについて流れを決められると良いのではないのでしょうか。普段の日常生活が幸せであること、大切なものであることを伝えていきたいと思えます。

【DVD BDの販売につきまして】

先日配信させていただいておりました、12月16日・1月27日開催の大きくなった会で録画・編集していただいた動画の販売申し込みを受け付けております。うさぎ組～つき組の4クラス分の演目を同ディスクに入れ作成していただきますので、ご希望される方はぜひ期限内にお申し込みください。※ 〆切 2月4日まで ※



【 作成イメージとなります 】

【2月のねらい】

- あひるぐみ：・自分の布団の上で横になり、静かな環境の元、一定時間眠る
・保育士等に仲立ちしてもらいながら、他児とのやり取りを楽しむ
- ひよこぐみ：・体調や気温に配慮し、冬時期を健康に過ごす
・ごっこ遊びを通して簡単な会話や言葉のやり取りを楽しむ
- うさぎぐみ：・保育士等に見守られながら身の回りのことを自分で行おうとする
・ごっこ遊びや集団遊びを通して友達や年上児との関わりを楽しむ。
- はなぐみ：・身の回りの物を整理したり、大切にしようとする
・自分の言葉を気持ちで表現し、他児の言葉にも耳を傾けようとする
・身の回りのことを自信を持ちながら率先して行う
- ほしぐみ：・寒さに負けず体を動かしながら健康に過ごし、食事のマナーや食具の使い方を意識する
・自分の思いを言葉で表現し、他児との折り合いをつけようとする
・進級に向けて異年齢と関わる
- つきぐみ：・就学への期待や不安を受け止め、自信を持って過ごせるようにする
・友達と過ごすことの楽しさを感じるなかで、他児を思いやる気持ちを持つ
・自分たちの成長を感じると共に、周りの人へ感謝の気持ちを表す

おしらせ



●卒園式について(月組)

3月9日(土)に卒園式を行う予定です。**家庭保育のご協力をお願いいたします。**詳細は改めてお手紙を配布いたします。

●臨床心理士の高橋先生来園について

3月21日(木)に臨床心理士の高橋先生に来ていただきご家庭で気になる様子について保護者の方とお話していただく機会を設けております。ご希望される方はお早めに職員までお問い合わせください。

●登降園の際について

登降園の際、歩道や道路は自転車や歩行者の方もいて危険な為、必ずお子様から目を離さず、手を繋いでください。特に駐車場は、他の保護者の方も利用され車の出入りが多い場所です。事故にならないように気を付けてください。

●バレンタインチョコについて

衛生管理や、誤飲等でトラブルになることも予想される為、バレンタインチョコ等を登園用のカバンに入れて園内に持ち込むことはご遠慮ください。バレンタインチョコ等の交換は園外でお願いいたします。

●新年度準備期間について

3月27日(水)～30日(土)は新年度のクラス移行に向けた準備、清掃作業を行ないます。ご都合のつく方は出来るかぎり家庭保育のご協力をお願いいたします。

日	月	火	水	木	金	土
				1	2 節分	3 懇談会 (0~4歳児)
4	5 身体測定(幼児)	6 身体測定(乳児) 異文化交流(幼児)	7 杉アート(つき組)	8 避難訓練	9 0歳児健診	10
11 建国記念の日	12 振替休日	13	14	15 誕生会	16 英会話(幼児)	17
18	19	20	21 卒園式リハーサル① (つき組)	22	23 天皇誕生日	24
25	26	27 スポーツプロ ジェクト(つき組)	28	29		



食育だより



先月の食育の様子

新年お祝い献立の食事前に、正月料理に込められた意味や由来を子どもたちに話しました。展示されたおせちを目で見て楽しみ、食べる事で伝統食に親しむ姿がありました。

写真につきましては
ホームページ上での公開は
差し控えさせていただきます

おうちでみんなと
食べたのと一緒に！

おせちって
きれいだね

これとっても
おいしいよ！



暦の上では立春を迎えますが、まだまだ厳しい寒さが続きます。

2月は風邪やインフルエンザなどの感染症が増加する季節であるため、身体を温める事が大切です。そのため、園ではごぼうや蓮根などの根菜類、カブなど保温効果のある冬野菜を取り入れることで元気に過ごせる工夫をしています。



大和東保育園おすすめレシピ

～切干大根のハリハリサラダ～



☆材料（4人分）

- ・切干大根…15g
- ・胡瓜…1/2本
- ・人参…1/2本
- ・黄パプリカ…1/2個

- A
- ・穀物酢…大さじ1
 - ・サラダ油…小さじ2
 - ・上白糖…小さじ1
 - ・薄口醤油…小さじ1弱

☆作り方

- ① 切干大根を戻し、食べやすい長さにカットする。
- ② 胡瓜、人参、黄パプリカは細切りにし、さっとゆでて水気を切る。
- ③ Aと野菜と和える。
- ④ 味を調節して完成♪



野菜の食感が楽しいハリハリサラダ。
余りがちな食材ですが、カルシウムやカリウムなど
栄養がたくさん含まれているので、食卓に一品
追加してみてもいいですか？



家庭でできる食育



～感謝して食べよう～

私たちが食事をするまでの過程には食べものを栽培し収穫する農家・漁師・畜産家などの生産者や運搬をする業者、販売する小売店、それらを調理する方などたくさんの人の関わりがあります。

食事の前後に言う「いただきます」「ごちそうさまでした」には食べ物と食事に関わる人々に対する感謝の気持ちが込められています。給食や家庭の食事も様々な人に支えられていることを伝え、苦手なものも挑戦して食べられるように日々の声掛けを大切にしていきたいですね。



1月のねらい

- 生活リズムを整え、健康に過ごす
- 片付けや簡単な着替え等、身の回りのことに興味を持ち、行おうとする

人生で最も大きな成長を遂げる時期が0歳児から1歳児と言われていますが、最近では簡単な身の回りのことを自分でやりたい、やってみようとする気持ちが芽生え、自分の持ち物を認識して靴下を取ったり、おむつ替えの時にズボンを引き上げようとしたり、低月齢の友達はスプーンやコップを持つようとする姿が見られます。勿論、全て上手にできるわけではありませんし、途中で保育者にできないことを伝えることもあります。ですが、自分でしたいと思えたことや途中まで行った過程を共に喜び、具体的に褒めて励ましていきたいと思えます。成功体験を重ねながら、根気強さや挑戦する心、挫折しても立ち上がるたくましさや育まれ、今後の長い人生の中でこのような積み重ねが支えになることでしょう。

自立心と共に発語も盛んになっています。「どーぞ」「やった」「あっち」「いや」「いたーい」等、とても可愛らしい声が沢山聞こえます。寒さが増す時期ではありますが、散歩や戸外活動を計画していきながら、風邪に負けない体力をつけていきたいと思えます。



日中、暖かい日もありますが、まだまだ冷え込む2月。

寒さで体が縮こまってしまうがちですが、頬を赤らめながらも戸外で元気いっぱい遊びを楽しむ子どもたちを見て、背筋をしっかりと伸ばしていかなければと思います。室内遊びでは、お医者になりきり玩具を使って「ぽんぽんするよ(お腹)」や「ちっくん、いたくないよ(注射)」と友達や保育者にして遊んだり、おままごと遊びで「かんぱ〜い」とコップを合わせたり、友達と関わって遊ぶ楽しさを知り始めています。

また寒さからか、室内や戸外どこにいても気が付くとタラ〜ッと自然と鼻水が垂れてくるこの頃。子どもたちは、(鼻!)と指を差して鼻水が出ていることを教えてくれたり、「ていっしゅ!」と言って、自分でティッシュを取って、保育者の所まで持って来て一緒に拭く練習をしたりしています。綺麗にしてあげるとスッキリした表情をしています。友達の鼻水が出ていることに気がつくといきなりティッシュを持って来てあげる姿も見られます。とっても優しい友達思いなひよこ組さんです。子どもたちの体調の変化などに充分注意しながら、今月も笑顔で過ごしていきたいと思えます。

1月のねらい

- 鼻水が出たら拭いてもらい、清潔に過ごす心地良さを味わう
- 保育士等や他児と言葉のやりとりを楽しむ



1月のねらい

- 友達と関わる中で貸し借りの言葉を伝えようとする
- 服装の調節や手洗いうがいをし、健康に過ごす

いっしょにあそびたい!

まだまだ厳しい寒さが続いている今日この頃。真冬の冷たい風にも負けず、元気いっぱい遊ぶ子どもたちの姿にたくましさを感じます。

室内遊びでは友達と大型ブロックを組み合わせてお城を作ったり、バイクや車などの乗り物を作ったりしています。「こうじちゅうです!」とごっこ遊びや工事現場に見立てた遊びや「かんせーい!」と作ったものを友達と見せ合って一緒に喜ぶ姿が見られていました。楽しく遊ぼうとする姿が見られる反面、自分の気持ちを上手く言葉にして伝えられず、玩具の取り合いになる時もあります。子どもたちはトラブルを通して相手にも思いがあることに気づき、玩具の貸し借りや順番に使い、譲り合うことを少しずつ分かるようになっていきます。これからも子どもたちに寄り添いながら保育者が間に入り、相手の気持ちを代弁したり言葉を知らせたりして相手を思いやる気持ちを育てていきたいと思っています。

じぶんでできる!

以前は戸外活動の準備時に「せんせい! やって!」と保育者に帽子や靴下を渡していた子どもたち。今では帽子・上着・靴下を自分で準備しています。「できない! やって!」と言う時もありますがファスナーを上げる際のやり方やコツを繰り返し伝えることで自分でもやってみようとするようになりました。子どもの気持ちを尊重しながら自分で取り組んでいる際は見守り、進級に向けて身の回りの事を自分で行えるよう促していきたいと思っています。ご家庭でもお時間がある際は子ども自身でやってみようと挑戦する機会を作ってください。そして出来た出来ない関係なく頑張っている姿をたくさん褒めてあげてください。



おしょうがつあそび
たのしいね！

2024年の始まり

年末年始の長期休みを終え、園には「せんせい！おはよう！」「あけましておめでとうございます」と子どもたちの元気な声が響き渡りました。久しぶりの登園となりましたが、不安そうにすることなく、いつもと変わらない様子で遊ぶ姿を見てほっと一安心しました。

先日『子ども新年会』があり、年が変わってどのように過ごしたかを考えたり紙芝居やイラストを通してお正月の伝承遊びについて知ったりしました。「2024年は何年？」と聞かれて少し考えた後に「たつ！」「りゅうみみたいなやつだよ！」と先日の年賀状製作を思い出して答え「さすがつき組さん！」と褒められました。

園庭では羽根つきを用意すると「やりたい！〇〇くん/ちゃんしよう」と友達を誘い「いくよー！」「いち！に！」とタイミングを一生懸命合わせて何回か続くと「せんせいできた！」と大喜び。室内遊びではけん玉に挑戦し、奇跡的に皿に玉が乗ると「うわ！みて！」「じぶんでもできてびっくりした！」と大興奮でした。他にもお手玉をバランスよく乗せるゲームなど独自の遊びを考えて楽しむ子どもたちでした。

1月のねらい

- 相手の気持ちを考えながら過ごしたり、共通の目標に向かって協力したりすることを楽しむ
- 様々な職員と関わりを深めると共に大人と関わる経験を増やす
- 正月や節分等の冬の行事に親しむ

せんせい、だいすき！

卒園まであと2ヵ月程となり寂しさも徐々に感じてきた子どもたち。担任をはじめ、お世話になったたくさん保育者と関わりを持ってほしいと思い、活動を共にして一緒に過ごす時間を設けています。また、朝や夕方の合同保育時間では「せんせい、〇〇してあそぼうよ～」「せんせい、これみて！」と大人と子どもの距離感ではなく同じ目線で過ごし、一緒に玩具遊びやお絵描きなどを楽しんでいます。

平仮名が書けるようになった子が増えたこともあり、「せんせいだいすき！」「そつえんまでたくさんあそぼうね」と文字にして書いてくれる子もたくさんいます。「みんなへ ずっとだいすきだよ」と友達にも書く姿まで見られ、感動させられる今日この頃です。残りの時間を1日1日大切に楽しく過ごしていきたいなと思います。

※2月から午睡時間がなくなります。引き続きシーツや布団は体調不良時に使用できるよう、月曜日に持ってきて念のため金曜日に持ち帰りをお願いいたします。



1月のねらい

- 感染症予防をしながら、冬を健康的に過ごす
- 相手の気持ちを知り、思いやりながら関わろうとする
- 様々な遊びや、正月や節分等の冬の行事に親しむ

年下児との関わり

先月はうさぎ組と幼児室で一緒に遊んだり、はな組と散歩に出掛けたりと進級に向けて年下児と関わる機会を多く設けました。今までつき組との交流が多く、お世話をしてもらう側だった為、改めて最近始めた『こんなときどうする?』の時間で年下児との接し方について話し合いをしてみました。「危ないことをしていたらどうする?」「お兄さんたちにしてもらって嬉しかったことは?」等、問いかけてみると「だめだよ! だけじゃなくてけがしちゃうよっていう!」「ないているときにつきぐみさんによしよししてもらってうれしかった」と子どもたちが経験してきた事を思い出し、教えてくれました。それからというもの「はやくいっしょにあそぶひにならないかな～」と期待に胸を膨らませていたり、「これよんで～」と年下児と関わる内容の絵本を読んでほしいとお願いしてきたりと興味津々な子どもたちでした。

関わってみると「これであそんでみる?」と視線を合わせて話しかけていたり、中には「おにいさんやるのむずかしいよ～」と保育者の元へ来た子もいたりしました。一人ひとりの姿を受け止めていき、保育者と一緒に年下児と関わってみる等、寄り添っていきたいと思います。

新しい玩具に興味津々!

新年お楽しみ会で紹介してもらった正月遊びや憧れのLaQ(ラキュー)等の新しい玩具に夢中になって遊んでいます。正月遊びではけん玉や羽根つきが人気で「うわあ～おしい!」と大盛り上がりのけん玉の見せ合い大会が始まったり、「いっくぞ～!」と友達と一緒に羽根つきをしたりと伝承遊びに親しんでいます。

また、様々な色の小さいピースを組み合わせて使う『LaQ』という玩具を使い始めました。主につき組が遊んでいる玩具の為、作品棚を見るたびに「つきぐみさんでサメつくっているひといるよ! すごすぎ!」「ぶらんこもつくれるんだ!」と目をキラキラさせて眺めていた子どもたち。ついに手にとって遊べるようになり、LaQ コーナーは多くの子が集まり大盛り上がりです。「これこうだよね?」とつき組に聞いたり、作り方の図を見ながら「ん～こうか!」と試行錯誤したりしながら口が開くほど集中して遊んでいる可愛い姿が見られています。



1月のねらい

- 生活リズムを確認し、生活に必要な行動を自ら行おうとする
- 他児や保育士等と関わる中で、互いの思いを伝え合い、やり取りを楽しむ
- 行事や自然現象に触れ、冬の季節に興味・関心を持つ

新年お楽しみ会

年が明け、保育園では新年お楽しみ会を行いました。初めての行事にはな組の友達は何をするんだろう？と興味津々な様子でした。

【としがみさまのおしょうがつ】という紙芝居を読んでもらい干支について少し知りその後には正月遊びを紹介してもらいます。羽子板を使って羽根をつく羽根つき遊び、お手玉、けん玉等を実際に見せてもらいました。けん玉ではその場にいた保育者が順番に遊び玉を大皿や小皿に乗せようと挑戦していると「がんばれ！」と子どもたちが声援を送ってくれました。どの保育士も残念な結果でしたが、子どもたちは楽しそうにしてくれていました。園庭や公園で羽根つきをして遊ぶと「むずかしい！」と言っていました。諦めずに繰り返し挑戦していました。室内で行ったお手玉は、1つのお手玉を上に向けて取ることが難しいようでしたが、上に向けて力を調節したり友達から離れて集中して投げたりと工夫して楽しんでいます。今後も日本の伝統行事を大切に、季節の遊びを楽しめるようにしていきたいです。

身だしなみについて



子どもたち自身での着替えが身に付き「せんせい！たためたよ！」
「これでいい？」と綺麗に畳んだ衣服を見せてくれるようになりました。次に身だしなみを確認し、整えることについて話をしています。排泄後や運動遊びの後、着替えの後に肌着が出ている姿がよく見られます。こちらから声を掛けていますが、背中側をしまうのが難しかったり、しまってもすぐに出てきてしまったりしていました。保育者が声を掛け、手を添えながらも、子ども自身に実践してもらうことで、肌着のしまい方が身に付いてきたように感じています。他にも着替えの際には「こっちがまえ？」「あってる？」と衣服の前後を確認すること等、正しく衣服を着用することについて関心が高まっている姿がよく見られています。

また、今までは食事の後に食べこぼしがないか保育者が確認していましたが、「ごちそうさま」をした後には自分自身で食べこぼしや口周りの汚れを確認するところまでレベルアップし、「きょうはよごれてない」「すこしこぼしちゃった」と自分で気付くようになってきています。

衣服を正しく着ること、身だしなみを整えることの大切さを引き続き伝えていながら、子どもたちの自立に向けた関わりを大切にしていきたいです。

まだまだ寒く空気が乾燥した日が続いており、この季節特有の感染症が流行る時期でもあります。インフルエンザなどの感染症にかからないようにするためには、日々の健康的な生活が大切です。手洗いうがいはもちろん、規則的な生活、十分な睡眠時間を確保し、免疫力を高め、元気に過ごしていきましょう。

誤嚥や窒息に注意しましょう

「おにはそと！ふくはうち！」いよいよ節分の季節がやってきましたね。1年の無病息災を願ってまく豆ですが、思わぬトラブルを招くことがあります。消費者庁は、「硬くてかみ砕く必要のある豆やナッツ類は、5歳以下の子どもには食べさせないでください」と注意喚起をしています。

豆まきをする場合には、子どもから目を離さないようにしましょう。

また、豆やナッツ以外にも様々な食品で誤嚥や窒息は起こります。

以下の食材は特に注意しましょう。

- 丸くてつるつとしたもの：あめ・ブドウ・プチトマト・球形の個装チーズ・うずらの卵・こんにゃく
- 粘着性が高く飲み込みづらいもの：餅・ごはんやパン類
- かみ切りにくいもの：リンゴ・イカ・肉類・生のにんじん・棒状のセロリ



よいうんちを出すために必要なことは？

よいうんちを出すためには、野菜や豆類、海藻などの食物繊維をたくさんとります。そのほか、ヨーグルトやチーズ、納豆などの発酵食品も多く摂るようにします。また、よいうんちを出すためにも、たくさん歩いたり、外でよく遊んだりしましょう。そして、うんちは我慢しないことが大切です。



2月の予定

- 5日（月） 幼児身体測定
- 6日（火） 乳児身体測定
- 9日（金） 0歳児健診

1月の感染症

- インフルエンザA型…乳児クラス6名
幼児クラス9名
- 新型コロナウイルス…乳児クラス2名

どんなうんちが出ているかを確認しよう！

ココロうんち	ビシャビシャうんち	バナナうんち	ヒョロヒョロうんち
水分が少ないため、硬くなります。量も少なく、においも臭いことが多いです。 こんなことに気をつけよう	水分が多いうんちで、下痢の時に出来ます。量も多く、臭いことが多いです。 こんなことに気をつけよう	いきまなくてもスルンと出る、気持ちのよいうんちです。においは臭くありません。	細くてやわらかく、量は少ししか出ないことが多いです。とても臭いです。 こんなことに気をつけよう
↓ • トイレをがまんしない • 朝ごはんを食べる • ゆっくりトイレに行く時間をつくる	↓ • おなかをこわしていませんか？体調を整えましょう。	この調子でいこう ↓ • よいうんちがでてきます。健康状態も良好です。	↓ • お菓子やジャンクフードを食べすぎない • 運動をする • 生活習慣を見直す